

鬼瓦のルーツを尋ねて 韓国へ (22)

前橋市 富山 弘毅

圧巻！ 7度目の訪韓

2012年6月中旬の韓国東北部・江原道(ガンウォンド)の鬼探しの旅は、圧巻でした。お世話になった通訳が私の手紙を翻訳してくれることに気付き、お礼のメールを打ちました。



武陵博物館長・江原道博物館協議会会長
江原ガンミョン文化祭委員会会長
金在煥(キムチェハン)様
江原ガンミョン文化祭委員会事務局長
全美貞(チョンミチョン)様

こんにちは。その後、お元気でしょうか。

日本の鬼瓦のルーツを尋ねる私の韓国旅行は、あなた方のおかげで、収穫の多いものになりました。

お忙しいにもかかわらず、時間も、身体も、知恵も、お金も惜しむことなく、私のわがままを聞いてくださったことに、心からお礼申し上げます。

初めて訪問した原州に、あなた方のすばらしい武陵博物館があり、江原道の豊かな文化財の保存・普及に献身しておられることを知り、感激しました。

6日間もの長い間、車を運転して案内してくださったたくさんの寺や史跡、博物館などは、私の貴重な財産になりました。

特に、国立春川博物館の館長にお会いできたこと、ソウルの柳琴瓦当(ユグム・ワダン)博物館を観ることが出来たことは、私の研究に大きな影響を与えました。

通訳の尹永淑さん、金桂華さんをご紹介していただいたおかげで、金会長の専門的な見解も知ることが出来ました。

鬼だけでなく龍、トッケビ、ハッテについてたくさん勉強できたのも収穫でした。

トッケビについてインターネットで調べてみましたが、民話、童話の絵本などは



(左から) 金在煥、全美貞、尹永淑の各氏。
原州市の武陵博物館事務室で



廃校舎活用の武陵博物館玄関

たくさんあるようですが、研究論文は見当たりません。ソウルの梨花女子大学校にトッケビ研究チームが出来たようで、結果に期待していますが、私が手に入れることができるかどうか。

毎年、8月6日(広島原爆記念日)から8月9日(長崎原爆記念日)にかけて、原水爆禁止世界大会が広島と長崎で行われ、それに向けて日本の隅々から「網の目」のように「核兵器廃絶国民平和大行進」が繰り広げられます。韓国からの行進団も来ます。私は前橋地区の平和行進責任者で、この時期は多忙のため、1,500コマ撮った写真の整理が始まっていません。

また、たくさんのお話を教えていただいたので、文章にどうまとめたらよいか、迷っています。

書けたら、お送りするつもりです。
感謝を込めて。

2012年7月5日 富山弘毅



一旦は自分で準備したが

朝鮮半島の三国時代が多分、日本の瓦と鬼瓦のルーツだろう。そのうち百濟、新羅の都だった地域を中心に踏査してきたが、東北部を支配していた高句麗の影響のある鬼瓦に出会えないか。北朝鮮には行けないから、韓国東部の江原道を歩きたい。しかし、観光案内書にはほとんど載っていない地域。どうしようか……。

地図で発見した寺院 12 か所、博物館 2 か所を回る計画を立てました。

最低必要になるであろう会話・100 例ほどのアンチョコを、懸命に作りました。

インターネットでかなり時間をかけて宿泊地を豊基(ブンギ)、榮州(ヨンジュ)、江陵(강릉ガンヌン)、東草(ソクチョ)、春川(チュンチョン)の 5 都市としてホテルを契約。移動手段のバス、鉄道を調べ、あとはタクシーと決めました。

5 泊 6 日です。江陵はちょうど端午祭りでホテルが思うようではありませんでしたが、なんとか見つけました。

これらが不要になってホテルを全部キャンセルすることになったのは、韓国から前橋に来て結婚、韓国語教師をしている金(梅田)玉姫(オクヒ)さんを、九条の会の友人が紹介してくれたおかげでした。

金玉姫さんは達者な日本語で「いい人を

紹介するから、その人にすべて任せなさい」というのです。その「いい人」が金在煥(キムチェハン)さんでした。「原州(ウォンジュ)のムルン博物館長で、いろんな会の会長をしていて、顔のきく人。もしかしたら通訳できる人を見つけてくれるかもしれない」というのです。

韓国の文化人を信じて任す

半信半疑でした。そんな幸運がありうるのだろうか。「ムルン博物館」をネット検索しても、出て来ません。

金玉姫さんは「電話でお願いしたらOKよ。韓国の歴史に関心をもつ日本人がいるのはうれしいから、自分で車を運転して寺などを案内する、ホテルも責任を持って探すと言っている」というのです。そんなに親切な人が、本当にいるのだろうか。しかし、こんなチャンスはまたとあるまい。決断して、お任せすることにしました。

ただ、その金在煥さんは日本語は出来ないそうなのです。「通訳をなんとかしても」と、金玉姫さんに念を押しました。

ソウル金浦空港に着いて、原州(ウォンジュ)行きのバスに乗りました。料金表示がどこにも見えなかったので、運転手に「ウォンジュ?」と確かめて1万ウォンや5万ウォン札を見せると、2万ウォンとって3千ウォンのおつりをくれました。

ただ1つのたよりである金在煥さんの電話番号にかけて、「ヨボセヨ。とみやまこうきらゴハムニダ。チョグン、ギンボ、チュルパル(今、金浦、出発)」と、片言



いずれも原州市・九龍寺出土の人面瓦(武陵博物館展示)

で言うのが精いっぱいでした。

廃校校舎活用の^{ムルン}武陵博物館

2時間で原州バスターミナルに到着。見回してもそれらしき姿がありません。10分ほどウロウロしてから「到着」と電話すると、たぶん「すぐ行く」と言ってくれたので、何となく安心しました。

ターミナルの表に出て街並みを眺めていると、チャーミングなご婦人が2人、近寄ってきて「とみやまさんですか」と日本語！思わず「ネー」でなく「はい」と答えてしまいました。

白い7人乗りの車の運転席に、チョゴリを着て、髪を後ろで結わえた金在煥さんがいました。

車はまっすぐムルン（武陵）博物館へ。なんと、廃校になった小学校校舎を活用、1階に事務室と幼稚園（＝保育園）、廊下と階段、2階に所蔵品を展示するという、ユニークな博物館でした。ここを住居にもしている金在煥館長は「国の文化財指定をされたものだけでも40点くらいあります」といいながら、案内してくれました。

トッケビ模様の甕（武陵博物館）



トッケビ面隅瓦（武陵博物館）

まず注目したのは、いくつもの人面瓦と鬼面瓦でしたが、「鬼ではなく龍」「これはトッケビ（化け物）」などといわれ、トッケビについて学ぶことになります。



青磁の鬼面瓦・龍面瓦（武陵博物館）

貴重な文化財の中に、李朝26代の王・高宗の妃である明成（ミョンソン）皇后（＝閔妃ミンビ）に日本が贈った3振の刀のうちの1振がありました。鱧口のところに「五七の桐」の紋がありました。閔妃は1895年、日本によって殺害されました。



閔妃ゆかりの刀剣を手にする金館長（武陵博物館）



明成皇后（＝閔妃）の写真（武陵博物館）

）人ほどのした。廊下

명성황후 1851-1895 고종 황제의 비
홍성대원군 부인 민씨의 딸로서 원거로 인해 왕비로 간택되어 1865년에 입궁하였다. 고종 황제의
비로서 고종과 임춘의 정계애행 애호의 중심에서 숭한 교호를 맺으며 미완인정할 삶을 살아
끝국 일흔일 손에 실려달한 비후의 왕비이다. 행계 원비의 사인이나 후상화는 거의 남아 있지
않으며 이 사인은 원비의 실물을 볼 수 있는 매우 귀중한 자료 중 하나이다.

には子どもたちの作品と並んで、貴重な文化財が展示してあって、古い文化遺産も新しい作品も同じように大事にしようとする金館長の思想が表われているように感じました。



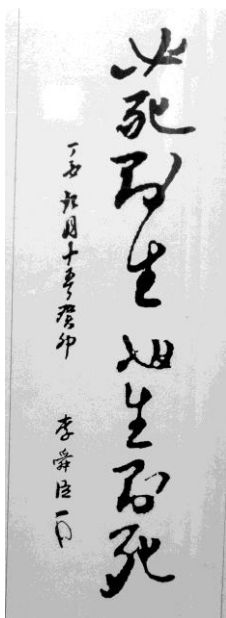
武陵博物館一階廊下。右に幼稚園の教室。

市のだ真ん中にある江原ガンミョン文化祭委員会の事務所が、この博物館の分館にもなっていて、逸品が豊富でした。



江原ガンミョン文化祭委員会事務所入口

豊臣秀吉の侵略に水軍を率いて戦った、韓国の国民的英雄・李舜臣（イソンシン 1545～98）の書がありました。李氏朝鮮第4代国王でハングルを制定した世宗（セジョン 1397～1450）大王の書も展示されていました。



国民的英雄・李舜臣の書（武陵博物館分館）

李氏朝鮮第4代国王世宗

李舜臣の書



李氏朝鮮第4代国王世宗の書（武陵博物館分館）

世宗大王御筆

家傳忠孝
世守仁敬

江原道の歴史祭りを主宰

この事務所には6人が常勤していて、内2人は市からの派遣、4人の人件費などは金会長の才覚で捻出しているそうです。

毎年秋に行われるガンウォンガンミョン文化祭、つまり江原道あげての歴史まつりの実行委員会事務所で、その会長が金在煥さん。昨年の祭典パンフには金さんに続いて原州市長、同市議会議員、江原道知事、国会議員、教育長が、挨拶を寄せています。

この江原（ガンウォン）監營（ガンミョン＝李朝時代に監司が職務を執った官庁）文化祭では、民族衣装の男女、山車、馬などが王の旗や武具を掲げて練り歩く時代行列に、多くの観客が全国から集まります。

王妃の儀式、朝鮮時代の服飾コンテスト、傳統武藝、王様の仕事、学者達の諧謔を込めた話を主題とした演劇、伝統的な遊びも催されます。

その女性事務局長が6日間同行してくれた全美貞（チョンミチョン）さんで、夫は舞台監督などもする芸術家だそうです。全さんの夫のおばさんが、日本に30年住んだことのある尹永淑（ユンヨンスク）さんで、5日間通訳してくれました。

夢のような6日間が始まりました。

（つづく）